



機能マネージャ (Feature Manager)

- [Feature Manager \(1 ページ\)](#)

Feature Manager

Cisco DCNM リリース 11.x では、DCNM のインストール時にインストール モードを選択する必要があります。リリース 12.0.1a 以降、Cisco Nexus ダッシュボードファブリック コントローラでは Nexus Dashboard にサービスをインストールできます。Nexus ダッシュボードファブリック コントローラ UI を起動すると、[機能管理 (Feature Management)] ページに 3 つの異なるインストールモードが表示されます。

Nexus ダッシュボードファブリック コントローラ 12 では、機能セットを動的に有効にし、アプリケーションを拡張できます。[設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] の順に選択して、インストーラタイプを選択し、選択した展開でいくつかの機能を有効または無効にします。

Cisco Nexus Dashboard から Nexus ダッシュボードファブリック コントローラ を初めて起動すると、[機能管理 (Feature Management)] 画面が表示されます。機能セットを選択する前に、バックアップと復元の操作のみを実行できます。

[機能管理 (Feature Management)] ページで、次のインストール モードのいずれかを選択できます。

- ファブリック検出
- ファブリック コントローラ
- SAN コントローラ

機能セットを選択した後、Nexus Dashboard から Cisco Nexus ダッシュボードファブリック コントローラ を起動すると、次のログインから Dashboard ページが開きます。

フィーチャ セットの選択

Cisco Nexus ダッシュボードファブリック コントローラ 12 を初めて起動すると、どのフィーチャセットも有効になりません。この状態で、バックアップと復元を実行して、DCNM 11.5(x)

データをNexusダッシュボードファブリックコントローラ 12に復元できます。Nexusダッシュボードファブリックコントローラはバックアップファイルからデータを読み取り、それに応じてインストーラタイプを選択します。

Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラ Web UI からフィーチャセットを展開するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] を選択します。

ステップ 2 フィーチャセットのいずれかを選択すると、次の表に示すデフォルトのフィーチャセットが表示されます。

ステップ 3 次の表で、フィーチャセットで使用可能なアプリケーションを選択します。

ステップ 4 [保存して続行 (Save and Continue)] をクリックします。

フィーチャセットが展開されます。選択したアプリケーションが有効になります。フィーチャセットがインストールされていることを示すメッセージが表示されます。有効にするには更新する必要があります。

ステップ 5 ブラウザを更新して、選択したフィーチャセットとアプリケーションでNexusダッシュボードファブリックコントローラを展開します。

左側のペインには、展開されたフィーチャセットで特にサポートされている機能が表示されません。

機能セット全体での変更

Nexusダッシュボードファブリックコントローラ 12では、ある機能セットから別の機能セットに切り替えることができます。[設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] を選択します。次の表で、目的の機能セットとアプリケーションを選択します。[保存して続行 (Save and Continue)] をクリックします。ブラウザを更新して、新しい機能セットとアプリケーションでCisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラの使用を開始します。

特定の導入でサポートされる機能/アプリケーションがいくつかあります。機能セットを変更すると、これらの機能の一部は新しい展開でサポートされません。次の表に、機能セットを変更できる前提条件と基準の詳細を示します。

表 1: 展開間でサポートされるスイッチング

送信元/宛先	ファブリック検出	ファブリックコントローラ	SAN コントローラ
ファブリック検出	-	ファブリック検出の展開では、モニタモードファブリックのみがサポートされます。機能セットを変更すると、ファブリックコントローラ導入でファブリックを使用できません。	サポート対象外
ファブリックコントローラ	ファブリックセットを変更する前に、既存のファブリックを削除する必要があります。	Easy Fabric から IPFM ファブリックアプリケーションに変更する場合は、既存のファブリックを削除する必要があります。	サポート対象外
SAN コントローラ	サポート対象外	サポート対象外	-

